※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	プレゼンテーション	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プレゼンテーションとは、「限られた時間で、自分の意見や考えを主張し、相手に伝える」ための発表または表現のことです。この科目では、プレゼンテーション資料の準備段階での思考方法やソフトを利用した作成方法、そしてプレゼンテーションによって自己を表現し、相手に伝える技能・技術について学んでいきます。伝えたいことを正しく簡潔に伝える能力は、社会生活を営むうえでも必要不可欠です。グループワークなども行い、周囲とのコミュニケーションをはかりつつ、プレゼンテーション能力を身に着けることを目的とします。

遅刻・欠席はせず、周囲と協調しながら、課題等積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

現代社会においては、様々な情報を容易に発信できる一方で、適切なプレゼンテーションを行うための技術を学べる機会は少ない。本授業では、プレゼンテーションに必要なソフトの操作技術、プレゼンテーションを行ううえで役立つ知識、話し方や伝え方などの初歩的な技術や思考方法を身に着けることを目標とする。さらに、自らが発表者となることにより、聞き手としての態度を養い、両者のあいだに良好な関係を築く必要性を学ぶ。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーションを行う上での目的設定・企画・準備などの流れを理解しているか。また、わかりやすく伝えるための基本的な表現技法を理解しているか。	目的に応じた筋道の展開や資料の作成、話し方などについて考え効果的なプレゼンテーションの実施及びプレゼンテーション資料の作成が出来るか。 プレゼンテーション用ソフトウェアを利用して、わかりやすい資料を作成できるか。また、伝わりやすい話し方や言葉遣い、態度でプレゼンテーションを実施できるか。	効果的なプレゼンテーションの方法について興味を持ち、筋道の作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組むことが出来るか。また、周囲と協調しながら積極的に活動に取り組むことができているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="2">プレゼンテーションについて</td><td>・プレゼンテーションとは
・プレゼンテーションの構成
・プレゼンテーションの実施
・視覚資料の作成
・プレゼンテーション能力を高めるために</td><td rowspan="2">a: プレゼンテーションを行う上での目的設定・企画・準備などの流れを理解しているか。また、わかりやすく伝えるための基本的な表現技法を理解しているか。
b: 目的に応じた筋道の展開や資料の作成、話し方などについて考え効果的なプレゼンテーションの実施及びプレゼンテーション資料の作成について考えることができているか。
c: 効果的なプレゼンテーションの方法について興味を持ち、筋道の作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組もうとしているか。</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
授業観察</td></tr>
<tr><td rowspan="3">グループワークやコンピュータを用いたプレゼンテーション学習</td><td>・個人課題
紹介プレゼン</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
授業観察</td></tr>
<tr><td>2</td><td>・グループ課題
提案プレゼン</td><td>a: プレゼンテーションを行う上での目的設定・企画・準備などの流れを理解しているか。また、わかりやすく伝えるための基本的な表現技法を理解しているか。
b: 目的に応じた筋道の展開や資料の作成、話し方などについて考え効果的なプレゼンテーションの実施及びプレゼンテーション資料の作成が出来るか。
プレゼンテーション用ソフトウェアを利用して、わかりやすい資料を作成できるか。また、伝わりやすい話し方や言葉遣い、態度でプレゼンテーションを実施できるか。
c: 効果的なプレゼンテーションの方法について興味を持ち、筋道の作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組むことが出来るか。また、周囲と協調しながら積極的に活動に取り組むことができているか。</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
授業観察</td></tr>
<tr><td>3</td><td>・個人課題
調査・報告プレゼン</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
提出物
小テスト</td><td>実習課題
授業観察</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度